

余呉湖の「ワカサギ釣り」に挑戦してみませんか！

【防寒対策を万全に】

ワカサギ釣りは冬の風物詩というだけあって、寒さの中の釣りです。スキーウエアのように風を通さない服装で、カイロなどを入れて防寒対策をしっかりとしましょう。

【釣り場の規定を守って】

余呉湖のワカサギ釣りは棧橋の上からの釣りとなります。棧橋上で暖を取ったり、釣り上げたワカサギを調理したいところですが、昨シーズンから棧橋施設の保護などの観点から、木炭・豆炭・練炭などを燃料とする直火使用や「七輪」の使用は禁止しています。

ただし、床に熱を伝えないガスストーブやガスコンロで暖をとることは認めています。

また、天ぷらなどの調理をすることも禁止しています。湯を沸かす程度はOKですが、混雑しているときには使用を控えるなど、ルールを守って楽しい釣り場の環境づくりにご協力下さい。

【タックルと入れ物の準備】

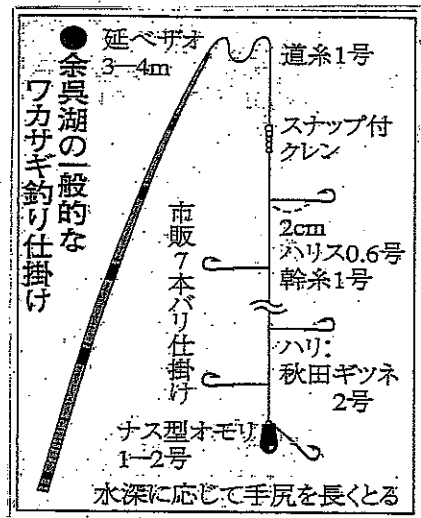
これらの規定を遵守したうえで、暖かい服装で防寒対策が整ったら、タックルの準備です。

竿はのべ竿3~4mで穂先の柔らかいタイプを。また小型両軸受けリール付きの短い竿でも楽しめます。

竿の穂先からは1号の道糸を付け、その下にワカサギ仕掛けを付ければタックルの完成です。一般的仕掛けは、1.5号程度のナス型オモリを付けた7本針仕掛けで針の大きさは2号バリが中心ですが、今シーズンの余呉湖のワカサギは体長が10Cm前後と大きく2.5号バリでもOKです。

(釣り道具を持たない人には、竿と仕掛けを販売しています。また、エサも赤虫と紅サシの2種類を置いています。)

余呉湖での各種料金	
遊漁料(環境整備協力金300円含む)	
1日券 (大人)	1,300円
(小人)	800円 (小・中学生)
釣具・餌販売	
竿 (3mのべ竿)	1,000円
仕掛 (道糸付き)	400円
仕掛 (道糸なし)	300円
エサ (赤虫)	200円
エサ (紅サシ)	200円



余呉湖ではエサ釣りが基本で、エサは赤虫と紅サシが定番となっています。

マキエやサビキ釣り・引っかけ釣りは禁止です。

タックルが準備できれば、あとは釣ったワカサギを入れるクーラーボックスやバケツがあれば十分です。

【釣り座選びと釣り方】

準備ができれば、棧橋に入り、釣り座選びです。よく釣れている人の隣へ入るのが懸命ですが無理な割り込みはいけません。必ず一声掛けて入れてもらいましょう。

棧橋周辺の水深は3m前後。エサを付けて、仕掛けを落とします。オモリが着底したら、そこからフワフワと上下に誘いを掛けます。アタリがあるとブルブルと穂先が震えると同時に手元にもその感触が伝わってくるので、ゆっくり上げるだけでワカサギが釣れてきます。

誰でも簡単に挑戦できる釣りですが、数を釣るには色々な工夫が必要です。